



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月24日

上場取引所 東

上場会社名 KIホールディングス株式会社

コード番号 6747 URL <http://www.koito-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 掛川 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 田地川 章

TEL 045-822-7101

四半期報告書提出予定日 平成26年8月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	41,945	26.1	5,458	122.8	5,286	83.5	3,287	40.6
25年9月期第3四半期	33,251	△6.7	2,450	33.8	2,880	268.4	2,338	926.4

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 4,868百万円 (5.9%) 25年9月期第3四半期 4,599百万円 (493.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	79.30	—
25年9月期第3四半期	56.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	48,753	16,383	28.2	332.17
25年9月期	43,038	11,516	23.6	244.89

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 13,770百万円 25年9月期 10,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	21.8	5,800	134.6	5,600	92.8	3,400	48.9	82.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成26年7月24日)公表しました「平成26年9月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	41,587,061 株	25年9月期	41,587,061 株
26年9月期3Q	129,637 株	25年9月期	124,199 株
26年9月期3Q	41,460,074 株	25年9月期3Q	41,466,617 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

平成26年9月期の個別業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	250	△ 36.2	△ 1,150	—	1,700	40.7	2,500	15.8	60.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
個別業績予想の修正については、本日（平成26年7月24日）公表いたしました「平成26年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、原材料、エネルギー価格の上昇等があったものの、政府の景気刺激策や円安、株価の上昇等を受け、緩やかな回復傾向で推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループのセグメント別売上高は以下の状況となりました。

輸送機器関連事業につきましては、鉄道車両機器部門が国内向け、中国高速鉄道事業向けともに売上増となったことにより、前年同期比増となりました。

電気機器関連事業につきましては、交通システム部門が売上増となったものの、照明、情報システム両部門が売上減となったことにより、前年同期比減となりました。

住設環境関連事業につきましては、環境システム部門が売上増となったものの、住設機器部門が売上減となったことにより、前年同期と比べ横這いとなりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は、前年同期比26.1%増の41,945百万円となりました。

損益につきましては、中国子会社の増益に加え原価低減及び経費削減の効果等により営業利益は前年同期と比べ増加し、経常利益、四半期純利益につきましても、これを受けて前年同期と比べ増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は現金及び預金の増加1,161百万円、受取手形の増加3,149百万円、有価証券の増加1,083百万円などにより、前連結会計年度末に比べ6,049百万円増加し、34,186百万円となりました。また、固定資産は建物の減少187百万円などにより、前連結会計年度末に比べ334百万円減少し、14,566百万円となりました。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ5,714百万円増加し、48,753百万円となりました。

負債につきましては、支払手形の増加1,247百万円、買掛金の増加1,605百万円、損害賠償引当金の減少2,502百万円などにより、前連結会計年度末に比べ847百万円増加し、32,369百万円となりました。純資産につきましては、四半期純利益3,287百万円、少数株主持分の増加1,250百万円などにより、前連結会計年度末に比べ4,867百万円増加し、16,383百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益5,287百万円、仕入債務の増加2,676百万円などの増加に対し、売上債権の増加1,691百万円、たな卸資産の増加1,686百万円、損害賠償金の支払2,134百万円などの減少により、2,292百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出47百万円などにより、54百万円の使用となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは借入金返済による支出255百万円（借入による収入と相殺後）などにより、506百万円の使用となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は6,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,741百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、以下のとおり修正を行っております。

海外市場において、中国高速鉄道の事業拡大により中国子会社の販売が計画を上回ったことにより、予想に比べ増収、増益となったものであります。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	51,300	4,800	4,500	2,800	67.53
今回実績(B)	53,000	5,800	5,600	3,400	82.01
増減額(B-A)	1,700	1,000	1,100	600	—
増減率(%)	3.3	20.8	24.4	21.4	—

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、平成22年2月に国土交通省航空局より航空機シートの設計・製造過程に係る業務改善勧告を受け、運航中座席の安全性の確認作業、品質管理体制の再構築を最優先に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループはこれらの諸施策への対応費用等により、前々連結会計年度では816百万円の当期純損失を計上いたしましたが、前連結会計年度では2,282百万円の当期純利益を計上し、当第3四半期連結累計期間においては3,287百万円の四半期純利益を計上いたしました。

しかしながら、訴訟係属中のThai Airways International Public Company Limitedをはじめとするエアラインからの賠償請求は継続しており、当第3四半期連結会計期間末における損害賠償引当金は、手元流動性に対して高水準の債務となっております。

当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が当第3四半期連結会計期間末においても存在しております。

当社といたしましては、当該状況を解消すべく、平成23年8月に、航空機シート事業以外の輸送機器関連事業、電気機器関連事業及び住設環境関連事業を会社分割により、コイト電工株式会社として分社化いたしました。また、固定費低減を目的に、平成24年8月に希望退職の募集を実施し、総勢188名が退職いたしました。

当該分社化および希望退職の実施により、当社は事業価値の維持・向上に努めると共に、コスト競争力の回復と活力のある組織による製品開発、販売の拡大に努め事業基盤の強化を図っております。

また、航空機シートの納入遅延に伴い当社が提訴されております訴訟につきましては、法的手続きに則り、適切に対処してまいります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,430	4,591
受取手形	2,553	5,702
売掛金	11,586	9,900
有価証券	1,020	2,104
製品	3,469	4,145
仕掛品	2,533	2,847
原材料及び貯蔵品	2,756	3,532
繰延税金資産	78	120
その他	821	1,357
貸倒引当金	△112	△116
流動資産合計	28,137	34,186
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,483	3,296
構築物(純額)	28	24
機械装置及び運搬具(純額)	235	202
工具、器具及び備品(純額)	196	135
土地	3,059	3,059
有形固定資産合計	7,003	6,717
無形固定資産		
電話加入権	26	26
その他	233	83
無形固定資産合計	260	110
投資その他の資産		
投資有価証券	6,937	6,884
保険積立金	90	113
繰延税金資産	126	156
その他	490	592
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	7,636	7,738
固定資産合計	14,900	14,566
資産合計	43,038	48,753

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	2,146	3,393
買掛金	6,477	8,083
短期借入金	6,950	6,750
1年内返済予定の長期借入金	1,074	74
未払金	86	422
未払費用	1,121	989
未払法人税等	317	1,051
前受金	1,340	1,051
預り金	49	49
賞与引当金	307	665
役員賞与引当金	1	—
設備関係支払手形	4	12
その他	304	223
流動負債合計	20,181	22,768
固定負債		
長期借入金	202	1,146
繰延税金負債	549	704
退職給付引当金	5,988	5,623
役員退職慰労引当金	223	249
環境対策引当金	202	202
損害賠償引当金	4,098	1,596
長期預り保証金	64	64
その他	9	13
固定負債合計	11,339	9,600
負債合計	31,521	32,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,214	9,214
資本剰余金	8,211	8,211
利益剰余金	△8,426	△5,138
自己株式	△44	△45
株主資本合計	8,954	12,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	994	1,282
為替換算調整勘定	204	246
その他の包括利益累計額合計	1,199	1,529
少数株主持分	1,362	2,613
純資産合計	11,516	16,383
負債純資産合計	43,038	48,753

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成24年10月1日 至平成25年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成25年10月1日 至平成26年6月30日）
売上高	33,251	41,945
売上原価	27,405	32,775
売上総利益	5,846	9,169
販売費及び一般管理費	3,395	3,711
営業利益	2,450	5,458
営業外収益		
受取利息	100	88
受取配当金	40	46
為替差益	485	70
雑収入	165	104
営業外収益合計	791	309
営業外費用		
支払利息	64	61
航空事業安全対策費	251	392
雑損失	44	27
営業外費用合計	361	481
経常利益	2,880	5,286
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除売却損	3	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	2,877	5,287
法人税等	439	775
少数株主損益調整前四半期純利益	2,437	4,512
少数株主利益	98	1,224
四半期純利益	2,338	3,287
少数株主利益	98	1,224
少数株主損益調整前四半期純利益	2,437	4,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,522	288
為替換算調整勘定	639	67
その他の包括利益合計	2,161	356
四半期包括利益	4,599	4,868
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,224	3,618
少数株主に係る四半期包括利益	374	1,250

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,877	5,287
減価償却費	575	499
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△100	△339
賞与引当金の増減額(△は減少)	293	357
受取利息及び受取配当金	△140	△134
支払利息	64	61
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	—
有形固定資産売却損益(△は益)	3	△1
売上債権の増減額(△は増加)	1,281	△1,691
たな卸資産の増減額(△は増加)	832	△1,686
仕入債務の増減額(△は減少)	△20	2,676
前払費用の増減額(△は増加)	△54	163
未払金の増減額(△は減少)	△1,760	△26
未払費用の増減額(△は減少)	△303	△140
その他	△337	△42
小計	3,227	4,986
利息及び配当金の受取額	146	136
利息の支払額	△64	△61
損害賠償金の支払額	△1,814	△2,134
法人税等の支払額	△748	△634
営業活動によるキャッシュ・フロー	744	2,292
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	72	—
有形固定資産の取得による支出	△99	△47
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	11	—
その他	3	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	14,250	6,350
短期借入金の返済による支出	△14,257	△7,550
長期借入れによる収入	100	1,000
長期借入金の返済による支出	△40	△55
少数株主への配当金の支払額	△523	△249
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△472	△506
現金及び現金同等物に係る換算差額	78	10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	335	1,741
現金及び現金同等物の期首残高	6,928	4,451
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,263	6,193

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社は、平成22年2月に国土交通省航空局より航空機シートの設計・製造過程に係る業務改善勧告を受け、運航中座席の安全性の確認作業、品質管理体制の再構築を最優先に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループはこれらの諸施策への対応費用等により、前々連結会計年度では816百万円の当期純損失を計上いたしましたが、前連結会計年度では2,282百万円の当期純利益を計上し、当第3四半期連結累計期間においては3,287百万円の四半期純利益を計上いたしました。

しかしながら、訴訟係属中のThai Airways International Public Company Limitedをはじめとするエアラインからの賠償請求は継続しており、当第3四半期連結会計期間末における損害賠償引当金は、手元流動性に対して高水準の債務となっております。

当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が当第3四半期連結会計期間末においても存在しております。

当社といたしましては、当該状況を解消すべく、平成23年8月に、航空機シート事業以外の輸送機器関連事業、電気機器関連事業及び住設環境関連事業を会社分割により、コイト電工株式会社として分社化いたしました。また、固定費低減を目的に、平成24年8月に希望退職の募集を実施し、総勢188名が退職いたしました。

当該分社化および希望退職の実施により、当社は事業価値の維持・向上に努めると共に、コスト競争力の回復と活力のある組織による製品開発、販売の拡大に努め事業基盤の強化を図っております。

また、航空機シートの納入遅延に伴い当社が提訴されております訴訟につきましては、法的手続きに則り、適切に対処してまいります。

上記の対応を進め、着実に実行することにより、当該状況の解消、改善に努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、現時点では、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,741	20,996	1,513	33,251	—	33,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,545	927	—	2,472	△2,472	—
計	12,287	21,923	1,513	35,724	△2,472	33,251
セグメント利益	813	2,257	113	3,184	△733	2,450

(注) 1. セグメント利益の調整額△733百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,567	19,888	1,489	41,945	—	41,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,231	946	—	3,177	△3,177	—
計	22,798	20,834	1,489	45,123	△3,177	41,945
セグメント利益	3,754	2,340	86	6,181	△722	5,458

(注) 1. セグメント利益の調整額△722百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。